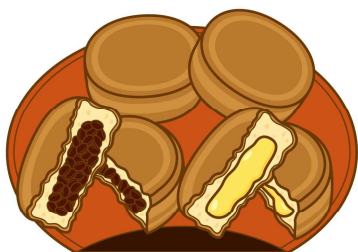


さくら



令和8年7月13日(月)

愛をこめる



高校を卒業して、キララ商店街(九条新道)と加賀屋商店街に店舗を構える、「パンダ」という屋号のお店で働いてました。回転焼き、お好み焼き、焼きそばを店頭で焼きながら販売する店でした。

自画自賛になりますが、回転焼きを焼く手さばきは、大したものだった、と勝手に思っています。

チャッキリで、生地を回転焼き器に落としあんこをのせる。もう片側の生地も落とす。両方の生地にほどよく火が通ったところで、目打ちを使って双方を重ね合わせる。そして、しばらく火を通せば出来上がり。

お店の大将が、よく次のように言っていました。

「同じ生地、同じあんこでも、愛情こめて焼いたものは美味しい。おかんが作ってくれる、赤ウインナーと玉子焼きだけの弁当がうまいのと同じや!」

当時は、ナンノコッチャと思うところもありましたが、今になればよく分かります。

愛をこめる。このことは、日々の生活でとても大切なことです。何気なく発する言葉、そして行い。その一つ一つに愛をこめる。言い方を変えれば、誰かのためを思って発する言葉、誰かのためを思っての行い。そこに愛がこもっていれば、それは、かけがえのない価値を持つものになります。

<みあげてごらん夜の星を>

日没後、西の空にひときわ輝く星が見えます。金星です。午後8時頃、南の空には赤い星が。さそり座の心臓にあたるアンタレス。「さそりの赤い目」と呼ばれています。東に目をやれば、わし座のアルタイル、こと座のベガ、はくちょう座のデネブが。夏の大三角です。ぼんやり星を眺める。心落ち着くひとときです。

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

